

Neuroscience 2022 参加報告

生命環境科学系 中澤研究室 修士1年 石川慶一

私は、広域科学専攻による2022年度「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」からご支援いただき、11月12日から16日にかけてアメリカ合衆国サンディエゴ市で行われたNeuroscience 2022という国際学会に参加し、ポスター発表を行った。

Neuroscience 2022は北米神経科学会（Society for Neuroscience）という、神経科学において、世界最大規模を誇る学会が主催する学会であり、神経科学に関連する様々な分野の科学者や企業が最新の知見や製品を発表していた。会場のいたるところで、ポスター発表・シンポジウム・企業出展・ワークショップが行われており、全て回り切るのが困難なほど沢山のものに興味を惹かれた。

私は「Facilitation of corticospinal excitability in the rectus femoris muscle during motor imagery」という題でポスター発表とオンライン発表を行った。筋肉を収縮させずに様々な運動をイメージすることで、大腿直筋の皮質脊髄路興奮性がどう変調するかを調べた研究である。私自身、国際学会はもちろんのこと、対面形式での学会に参加することも初めての経験だった。世界中の科学者たちが私の研究に興味を示し、様々な批評や助言をいただき、建設的な議論ができた。まだ修士1年で、研究を始めたばかりの私のことを一人の研究者（の卵）としてリスペクトしてくれた上、私の研究に対して「interesting」と言ってもらえる体験は何事にも代え難い貴重なものだった。

学会での活動はもちろんのこと、アメリカでの日常生活も私自身の研究や留学に対する憧れ、モチベーションを高めた。数日間であったが、国籍を問わず、多様な人間が生きるアメリカの地で生活できたことは、私の視野を大きく広げることができたと感じている。

最後にこの貴重な機会を支えてくださった、広域科学専攻による渡航助成に感謝を述べて、報告を終わりとす。



左：発表したポスター

右：会場の San Diego Convention Center